

令和2年度 広島県病害虫発生予察情報 予報第2号（果樹）



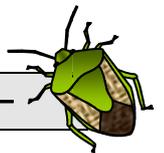
令和2年6月8日発表 広島県西部農業技術指導所
対象期間 令和2年6月8日～7月中旬
※次回の予報は7月21日頃です

もくじ

- 1 果樹カメムシ類の発生状況 ……P1
- 2-(1) かんきつ病害虫の現況と予報（概要） ……P2
- 2-(2) かんきつ病害虫の現況と予報（詳細） ……P3～5
- 3 気象状況 ……P5
- 4 農薬危害防止講習会について ……P6
- 5 お知らせ ……P6

かんきつは南部の以下の地域が対象です。
※西部：竹原市以西の沿岸島しょ部
東部：三原市以东の沿岸島しょ部

1 果樹全般 ー果樹カメムシの発生に注意しましょうー



県内におけるチャバネアオカメムシ集合フェロモンラップへの累積誘殺数は、5月第6半旬の時点で、世羅郡世羅町と福山市神辺町では「多」となっています。

表 1. 各調査地点におけるチャバネアオカメムシ累積誘殺数（5月第1～第6半旬） 単位：頭

設置地点	本年	現況	平年 ^{※1}	多発年 ^{※2}	多発年以外 ^{※3}
東広島市安芸津町	41.8	やや少	64.2	52.4	69.2
福山市神辺町	48.0	多	11.6	18.3	8.7
世羅郡世羅町	96.3	多	39.2	60.5	33.1
庄原市東城町	4.0	並	10.9	12.7	10.2
庄原市高野町	12.0	並	11.4	11.3	9.8

※1 各調査地点の平年とは、過去10年の平均を表しています。

※2 多発年とは、注意報を発表した年（平成22、24、26年）の平均値を表しています

※3 多発年以外とは、平成22年以降で、平成22、24、26年を除いた年の平均値を表しています

誘殺状況など、今後の情報に注意するとともに、ほ場内をよく見回り、飛来が認められた場合は速やかに防除を実施してください。

※ 最新の調査データは、広島県のホームページをご覧ください（本予報 P.6の5 お知らせを参照）。

2-(1) かんきつ病害虫の現況と予報(概要) 6月1日~6月4日調査

病害虫名	現況	予報	防除上の注意事項(防除時期)
かいよう病	やや多	多	<ul style="list-style-type: none"> ◆降雨前の予防散布を徹底する。予防散布できなかった場合は、降雨後に防除を行う。 ◆昨年度発病したほ場や、新葉に発病が多く見られるほ場では、銅剤による防除を早急に行う。 ◆発病した葉や枝は伝染源となるので、速やかに樹上から除去する。 ◆本年に銅剤を散布していないほ場では、早急に防除を行う。
ミカンハダニ	並	やや多	<ul style="list-style-type: none"> ◆梅雨明け後の多発を予防するため、6月中下旬に高度精製マシン油乳剤を散布する。

病害虫名	現況	防除上の注意事項(防除時期)
そうか病	並 ※一部発生	<ul style="list-style-type: none"> ◆多発園では梅雨期にも防除を行う。 ◆発病した葉や枝は伝染源となるので除去する。
アブラムシ類	並	◆現状は並であるが、増加傾向にあるので、発生が多くならないうちに防除を行う。
ヤノネカイガラムシ	並 ※発生なし	◆幼虫発生期である6月中下旬に防除を行う。
黒点病	—	<ul style="list-style-type: none"> ◆予防散布を心がけ、降雨前に散布する。 ◆感染源である枯れ枝は園外に除去し処分する。 ◆追加防除は、前回防除後からの累積降雨量が250mmを越えるか、前回防除後1ヶ月経過したら行う。
チャノキイロアザミウマ	—	<ul style="list-style-type: none"> ◆第2世代の発生ピークは、気温が平年並みに推移した場合、6月21日付近と予測される。 ◆発生ピーク予測日の7日前~発生ピーク当日に防除すると効果が高いとされている。

【発生量について】

「予報」「現況」は、「多、やや多、並、やや少、少」の5階級に区分しています。区分の方法は、原則として、過去10年間の同時期の調査結果の数値を、発生が多かった順に並べ、相対比較しています。

- 「多」 : 1番目(最多年)と同程度以上
- 「やや多」 : 2~3番目と同程度
- 「並」 : 4~7番目と同程度
- 「やや少」 : 8~9番目と同程度
- 「少」 : 10番目(最少年)と同程度以下

2-(2) かんきつ病害虫の現況と予報(詳細)

かいよう病



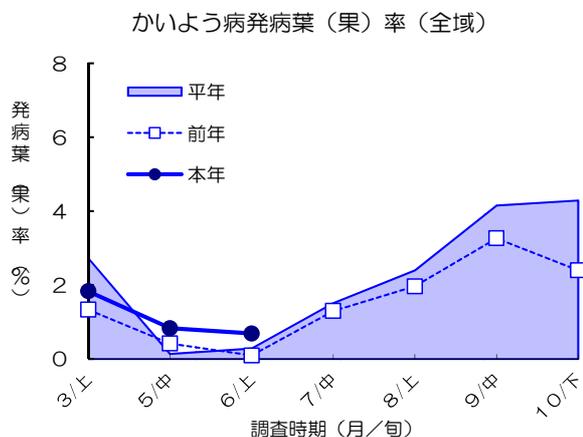
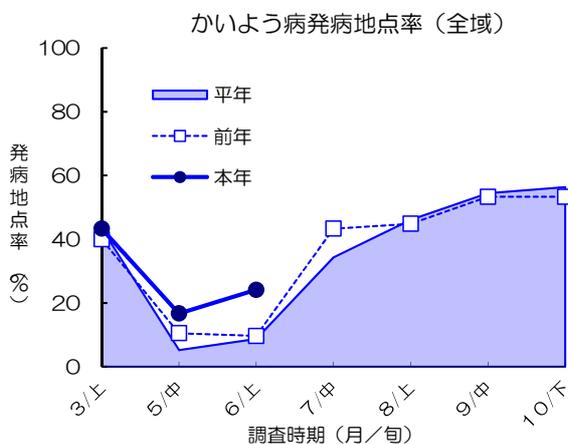
現況	予報の根拠 (+: 多発要因, (±): 平年並, (-): 少発要因)
やや多	
予報	
多	

◆巡回調査では、やや多の発生であった(+)。
◆向こう1か月の降水量は、少ない30%、平年並40%、多い30%と予想されている(±)。

防除上の注意事項

- ◆ネーブル, レモン, はるみなどの品種は発病しやすいので注意する。
- ◆巡回地点では、夏秋梢に罹病した葉が多く見られたので、速やかに樹上から除去するとともに、基幹防除を徹底する。
- ◆銅剤散布にあたっての注意事項
 - ・高度精製マシン油乳剤との散布間隔は14日以上あける。
 - ・マンネブ剤, マンゼブ剤は混用せず散布し、これらの剤の散布間隔は7日以上あける。
 - ・無機銅剤(コサイド剤など)の散布を行う際には、クレフノン(希釈倍数: 200倍)を加用する。
 - ・高温時に散布を行うと薬害が発生しやすいので注意する。

巡回調査データ



(注) レモン, ネーブルで調査
前年の7月中旬は豪雨災害のため欠測
調査対象部位は、3/上; 旧葉, 5/中~7/中; 新葉, 8/上~;

ミカンハダニ



現況	予報の根拠 (+)：多発要因, (±)：平年並, (-)：少発要因 ◆巡回調査では、平年並の発生であった。一部で寄生葉率が高いほ場がみられた(+)。 ◆向こう1か月の降水量は、少ない30%、平年並40%、多い30%(±)、気温は、低い10%、平年並20%、高い70%と予想されている(+)。
並	
予報	
やや多	

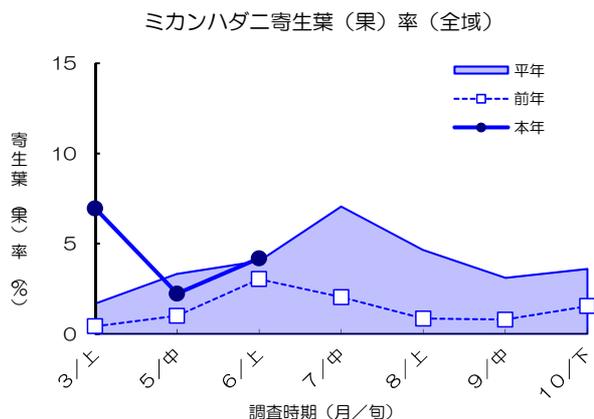
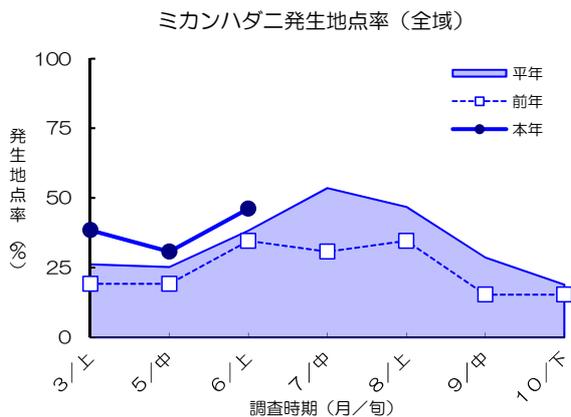
防除上の注意事項

◆梅雨明け後の多発を予防するため、6月中下旬に高度精製マシン油乳剤を散布する。

◆マシン油乳剤散布にあたっての注意事項

- ・7月以降の散布は果実の糖度低下につながるため、必ず6月末までに散布する。
- ・摘果剤との近接散布により、旧葉が落葉することがあるので注意する。
- ・高温時の散布は薬害を生じやすいため、気温の高い日は日中を避けて朝夕の涼しい時に所定濃度範囲の低濃度で行う。

巡回調査データ



(注) 前年の7月中旬は豪雨災害のため欠測
 調査対象部位は、3/上~5/中：旧葉、6/上~9/中：新葉、10/下：果実

チャノキイロアザミウマ



チャノキイロアザミウマは、防風樹として利用されているイヌマキやサンゴジュなどが発生源となり、かんきつ園に飛来する。この虫に果皮を加害されると外観が著しく悪化する。

チャノキイロアザミウマは気温の推移から成虫の発生が多くなる時期(発生ピーク)を予測することが可能である。**防除適期は、発生ピークの7日前～ピーク当日**が効果的であることが分かっている。

例年被害がみられるほ場では表2を参考に、発生時期に合わせた防除を行いましょう。

表2. チャノキイロアザミウマ成虫発生ピーク予測日(生口島アメダスデータに基づく)

	予測日		
	第2世代	第3世代	第4世代
今後の気温が平年比+1℃	6月19日	7月10日	7月28日
今後の気温が平年並	6月21日	7月13日	7月31日
今後の気温が平年比-1℃	6月22日	7月15日	8月3日

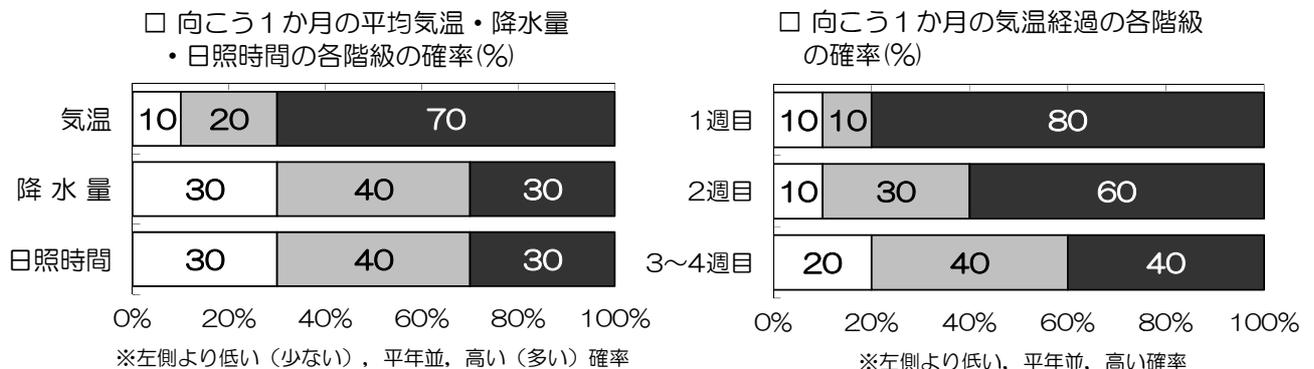
3

気象情報

中国地方1か月予報

(広島地方気象台6月4日発表、6月6日から7月5日までの天候見通し)

- ・ 平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
- ・ 向こう1か月の平均気温は、高い確率が70%です。降水量は、少ないまたは平年並である確率がともに40%です。日照時間は、平年並または多い確率がともに40%です。
- ・ 週別の気温は、1週目は、平年並の確率が80%です。2週目は、高い確率が60%です。3～4週目は、平年並または高い確率がともに40%です。



4

農薬危害防止講習会について

広島県では、農薬による危害の未然防止を図るため、6月1日から8月31日までの3ヶ月間を農薬危害防止の重点期間と定め、農薬販売者及び農薬使用者に対する関係法令等の周知や農薬の適正販売、適正使用及び保管管理のさらなる周知・徹底を図ることとしています。

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、毎年開催していた農薬危害防止講習会は中止となりました。講習会で配布予定だった資料を県ホームページに掲載しておりますので、参考にしてください。

広島県 農薬危害防止運動

検索

掲載アドレス→ <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/84/1305610235740.html>

※資料の内容および講習会に関するお問合せは、農業技術課(082-513-3559)へお願いします。

5

お知らせ

◇病害虫発生予察情報やフェロモントラップ等の調査データは、広島県ホームページで閲覧できます。

広島県 植物防疫

検索



アクセスはこちらから!



掲載アドレス→ <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/198/syokubou-t.html>

今回の病害虫発生予察情報に関するお問合せ先

広島県西部農業技術指導所 植物防疫チーム
〒739-0151 東広島市八本松町原6869
電話：082-420-9662(直通)